

令和 8年度予算見積調書

課室名：建築安全課

担当名：企画担当

内線：5524

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P21	建築・住宅行政手続デジタル化推進事業費			一般会計	土木費	土木管理費	建築指導費	建築・住宅行政手続デジタル化推進事業費	
事業期間	令和 5年度～	根拠法令	デジタル社会形成基本法、建築基準法等			針路	08 支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール	
						分野施策	0805 デジタル技術を活用した県民の利便性の向上	SDGsターゲット	
1 事業概要 社会全体のDXを実現するため、建築行政手続のデジタル化を推進し、県民の利便性向上を実現する。 ・オンライン手続、台帳データの一元管理を行うシステムの運用・保守業務 ・オンライン化に伴う建築行政手続の審査環境の整備を実施する。 ア システム運用・保守業務委託費 12,568千円 イ 審査環境整備費 2,465千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア システム運用・保守業務委託費 12,568千円 イ 審査環境整備費 2,465千円 (2) 事業計画 ア 建築行政手続のオンライン化及びデータの一元管理を行うシステムの運用・保守業務を委託する。 システム運用・保守業務委託費 12,568千円 イ 現場検査時に申請書や図面をタブレット端末で確認できるようにするため、タブレット端末を導入する。 審査環境整備費 2,465千円 (3) 事業効果 ア 建築行政手続のオンライン化により時間や場所によらずに申請できるため、県民の利便性が向上される。 イ オンライン申請された建築行政手続の審査環境が整備できる。 【活動指標(アウトプット)】システムの供用 【活動指標(アウトカム)】建築行政手続のオンライン利用率の増加 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 ア 市町村、消防及び指定確認検査機関との連携					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.0人＝19,000千円									
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
		国庫支出金							
決定額	15,033							15,033	△426,307
前年額	441,340	438,290						3,050	

事業内訳書

事業名	建築・住宅行政手続デジタル化推進事業費		
単位事業名	審査環境整備費	予算額	2,465千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	2,465	△585	
合計	2,465	△585	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	697	558	タブレット端末用PDFソフト購入費 17台分
使用料及び賃借料	0	△2,911	
備品購入費	1,768	1,768	現場検査用タブレット端末購入費 17台分
合計	2,465	△585	

単位事業名	システム運用・保守業務委託費	予算額	12,568千円
-------	----------------	-----	----------

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 土木管理費補助金	0	△42,230	
一般財源	12,568	12,568	
合計	12,568	△29,662	

○歳出 (単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	12,568	△29,662	システム運用・保守業務委託
合計	12,568	△29,662	